

平成27年度青森県公社等経営評価書

(平成26年度決算ベース)

法人名等		法人の自己評価(経営評価指標)			
6	(公財)青森県フェリー埠頭公社				
所管課名	県土整備部港湾空港課				
決算状況 (単位:千円、%)					
出資	資本金	県出資額	県出資比率		
	20,000	20,000	100.0		
決算	前期一般正味財産増減額	当期一般正味財産増減額	一般正味財産期末残高		
	73,966	34,205	4,804,883		
資産	資産	負債	正味財産		
	5,417,711	592,828	4,824,883		
財務分析指標		上記についての所管課の意見・評価			
正味財産比率	経常比率	総資産当期経常増減率	県財政関与率	補助金収入率	【目的適合性】 ◎ 交通機関としてのフェリーは、現在でも公共交通の確保という点で相 当の需要があり、存在意義がある。今後も利用者にニーズに対応した 取組を進めていくこと。
89.06	106.41	0.63	0.35	0.00	
受託等収入率	管理費比率	人件費比率	流動比率	借入金比率	
0.00	6.51	12.87	262.79	5.86	【計画性】 ◎ 事業計画をベースに、PDCAサイクルを通じて適切・迅速に経営改善 が図られる仕組みとなっている。引き続き堅実な経営に取り組むこと。
経営評価結果		評価区分 A:概ね良好			
<p>＜財務状況＞ 財務の状況については、安定的に黒字を確保していることは評 価できる。過去の施設取得等に要する費用について県からの借 入があるものの、着実に償還しており、経営上問題がないと認め られる。</p> <p>＜経営状況＞ 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価 項目において、おおむね妥当なものと認められる。</p> <p>＜留意事項＞ 当法人を事業実施主体として、平成29年4月の供用開始を予定 とする八戸港フェリー専用岸壁の第2バース増設が決定したところ である。当該増設に係る整備事業については、増設後の収支へ の影響等を分析し、県、フェリー埠頭を利用する船社等の関係機 関と情報共有を図り、適切に進めていただきたい。 また、フェリー埠頭等の施設の維持管理についても多額のコスト が見込まれることから、前記の整備事業を含め、将来的な維持管 理コスト等を適切に見積もり、財源等の手当も含めた施設維持管 理のための計画等に基づき、中長期的にマネジメントしていく仕組 みの構築に努めていただきたい。</p>					
<p>【組織運営の健全性】 ◎ 内部統制は堅実に運営されている。</p> <p>【経営の効率性】 ◎ 人的資源の有効活用に努めるとともに、経常費の削減にも取り組んで いる。同様の取組を継続すること。</p> <p>【財務状況の健全性】 ◎ 財務内容は概ね健全で特段問題はない。引き続き経営計画に準じ た、堅実な経営を進めること。</p>					